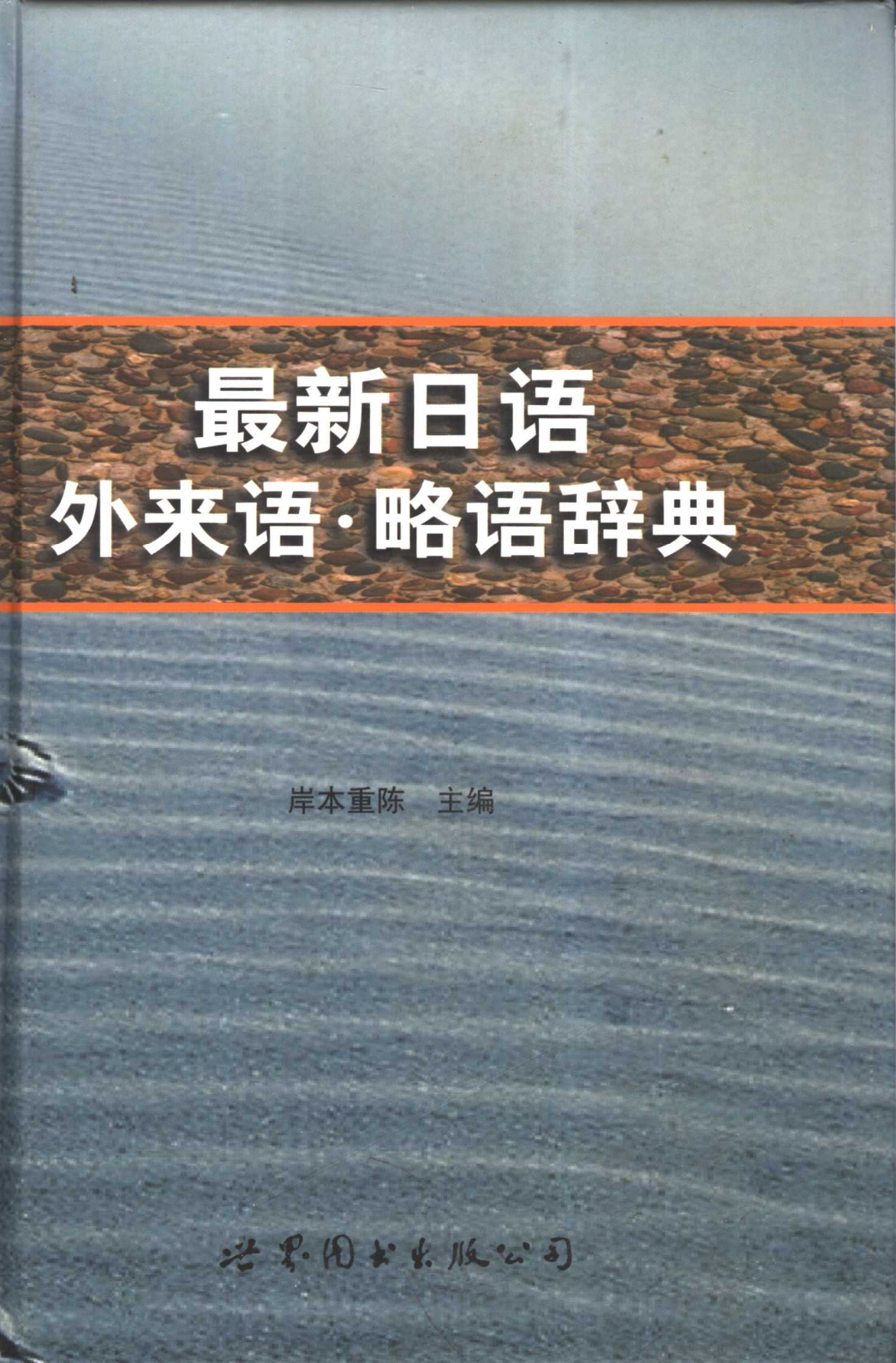




最新日语 外来语·略语辞典

岸本重陈 主编

世界图书出版公司

最新日语外来语 略语辞典

岸本重陈 主编



世界图书出版公司

广州·上海·西安·北京

图书在版编目(CIP)数据

最新日语外来语略语辞典/旺文社编. —广州: 广东世界图书出版公司, 1999. 8
ISBN 7-5062-4196-X

I. 最… II. 旺… III. ①日语-外来语-词典
②日语-编略语-词典 IV. H363.5-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 37603 号

最新日语外来语 略语辞典

株式会社旺文社(日本) 出版
广东 世界图书出版公司

广东世界图书出版公司发行

广州市新港西路大江冲 25 号

邮政编码: 510300

东莞新丰印刷有限公司印刷

1999 年 9 月第 1 版 开本: 787×1092 1/32

2001 年 8 月第 2 次印刷 印张: 26.25

印数: 3 001~4 500 册 字数: 900 千

ISBN 7-5062-4196-X/H·0150

版权贸易合同登记号: 19-1999-019

出版社注册号: 粤 014

定价: 43 元

A Dictionary of Katakana Words & Abbreviated Words(The Revised Edition)

Original copyright © Obunsha 1996

Originally published in Japan in 1996 by Obunsha Co., Ltd.

Chinese duplicative rights © 1999 Guangdong World Publishing Corporation

Chinese duplicative rights arranged with Obunsha Co., Ltd. through Vantage Copyright Agency

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieved system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording or otherwise, without the prior written permission of the Publishers.

前言

最近,无论是生活用语还是专业术语,日语中用片假名书写的
外来词和外语急剧增多,几乎无处不有,对这种情况,只能用“惊人”
一词概括。也有人虽然接受这种现象,但认为它的泛滥会有损日语
固有的优雅而持批判态度。然而,随着国际化和信息化不断深化,我
们这个时代的中心位置也由未曾经历过外语过敏症的年轻人所占
据,加上借助于外语来表达日语所无法表现的新鲜感之风日甚,估
计片假名词语在今后还会继续增多。

对这种语言现象的好坏我们姑且不予评论,重要的是设法准确
理解那些常见的片假名词语的词义,为此我们必须具备一定的片假
名词语知识。

本辞典就是在这一背景下,为适应迫切需要一本能快速查阅到
传媒中经常出现的片假名词语的辞典这一呼声而编写的。本辞典共
收录 20000 词,并有如下特点:

○广泛收录经济、经营、信息处理以及新媒体、电子、生命科学
等尖端技术方面的词汇,特别是对于能反映当代的重要词汇前后施
以“……”,予详细解释。

○对名词和形容词、动词等结合较紧的用法示以例证。大约有
90 项还在方框内列出可后接助词的短语范例。

○辞典后附有报章杂志中经常出现的西文缩写词和缩写符
号。

本辞典编写时曾得到佐佐木秀先生等人(名单见第 4 页)的协
助,特此致谢。

岸本 重陈

本辞典用法

条目范围

片假名词语是指外来词或日制英语和日制外语,也包括汉日混合词,共收词 20000 条左右。

条目排列

- (1) 包括汉语词、日语词在内均以五十音顺为序,继而以清音、浊音、半浊音为序排列。

〔例〕 ハッチ バッチ パッチ

- (2) 长音符“ー”与其前面音节的元音同样排列。

〔例〕 カート ↔ カアト チーフ ↔ チイフ
クール ↔ クウル ケース ↔ ケエス
ドーム ↔ ドオム

- (3) 片假名书写同而原语不同者,则分条按原语拼音为序排列。

〔例〕 ボルト [bolt] ボルト [bort] ボルト [volt]

条目书写

- (1) 条目书写以国语审议会“外来词书写”为准。但因片假名词语书写并无定型,故根据需要立空条目,以“⇒”符号表示参见主条目。

- (2) “ヴァ”“ヴィ”“ヴ”“ヴェ”“ヴォ”分别用“バ”“ビ”“ブ”“ベ”“ボ”书写,而“ヂ”“ヅ”用“ジ”“ズ”书写。

- (3) 原语的复元音“ei”“ou”原则上用“エ”列“オ”列长音书写,但也有如“エイ”“レイ”等用 2 字书写的。

- (4) 长音有时省略,特别是技术术语中原语的“-or”“-er”部分的长音大都省略。

- (5) 促音“ッ”加否则视具体用法而定。

- (6) 含有下列音时,常互相替换使用,如一方不见,可在另一方查找。

「ディ→デ」「ティ→テ」「ジェ→ゼ」「シェ→セ」

另、“ディ”“ ”如为较固定的习惯用法时,常分别写作“ジ”

“チ”。

〔例〕 ジアスターゼ [ド Diastase] チーム {team}

- (7) 原语如由 2 词分开书写或用横杠连接的, 原则上用“—”表示其结构。但实际书写时并非一定如此。

原语

- (1) 原语原则上置于条目后方括弧“[]”内。
 (2) 原语名用下列略语标于原语前。商标、商品名亦依此处理。原语如为英语的则原则上不注原语名, 仅在与其它原语并标时用时。

イ = 意大利语	オ = 荷兰语
ギ = 希腊语	ス = 西班牙语
ド = 德语	ワ = 法语
ポ = 葡萄牙语	ラ = 拉丁语
ロ = 俄语	英 = 英语
和 = 日制英语・日制外语	商 = 商标・商品名

- (3) 上列略语有中未列出者, 则多用原语名标注。
 (4) 希腊语和俄语转为罗马字书写。
 (5) 原语有两种以上书写法时, 原则上仅选其中之一。由于词性不同而分有无横杠“—”时亦如此处理。
 (6) 如对应于片假名词语的原语为略语, 则如下所示, 用括弧“()”标注原词, 或在释义中说明。

〔例〕 ガット [GATT (General Agreement on Tariffs and Trade)]

- (7) 原语的第一个字母根据语义需分大小写时, 原则上如下所示在义项分类号后标注。

〔例〕 イーグル [eagle] …③ [E-…]

- (8) 原语音与条目不直接对应或条目的汉语词・日语词部分用西文书写时, 则在原语前标注“≡”符。

〔例〕 パラボラアンテナ [≡parabolic antenna]

- (9) 条目中省略汉语词或日语词时, 其省略部分用“—”符表示。

〔例〕 ターゲット視聴率 [target...]

语义・解释・例证

- (1) 释义尽量简短易懂,即使是专业术语的释义也尽量考虑非专业人士的需求。
- (2) 尽量给出新的语义。
- (3) 例证置于括弧“〔〕”内,例证中相当于条目的部分用“—”符表示。

重要信息・后带助词的短语

- (1) 重要信息在其前后施以“……”符,并对今后的发展前景予以详细解释。
- (2) 相当于名词,且接助词后可以灵活多用的短语置于方框内。

书后西文略语・省略符

- (1) 条目排列不管西文以外的部分,仅以字母顺序排列。
- (2) 如“フィナ (FINA)”等读音不按字母,而有习惯读法的,在释义开头注明。

符号

⇒ 参见主词条	同 同义词
↗ 参见	対 反义词・对义词
↖ 与词条不直接 对应的西文	[] 注原语用括弧 「 」 例证用括弧
— 词条省略号	() 括弧解释前面词语
— 原语省略符	以及可省略词语用

协助执笔者(按五十音顺排列)

東 敬生	石井 洋	北 渦 一也
駒木 克彦	佐々木 秀	佐々木 達也
佐々木 真	関口 實	谷口 育生
永江 正文	原 俊起	山崎 真二
吉田 聡美	吉永 幸男	渡井 博巳

ア

アーカイバル・ファイル [archival file] コンピューターでオフラインの記憶媒体に保存されているデータファイル。

アーカイブス [archives] 公文書。公文書館。

アーガイル [argyle] 多色の菱形模様。セーター・靴下など編物に使われ、アーガイル・チェックという。本来は英国スコットランドのアーガイル家の模様。

アーキオロジー [archaeology] 考古学。

アーキタイプ [archetype] 原型。人類が共有する集合的無意識。

アーキテクチャー [architecture] ①建築術。建築物。建築の様式・構造。②コンピュータでは構成論。どのようなコンピュータをつくるかのもことになるもの。

アーキテクト [architect] 建築家。建築技師。建設する人。

アーク [arc] 弧。電弧。対向する2本の炭素棒に電流を通し白熱光を発光させる電灯がアーク灯 (arc lamp)。

アークヒルズ [ark hills] 東京都港区中心部の再開発事業。赤坂 (a) と六本木 (r) を結ぶ (knot) 地域。

アーケイズム ⇨ アルカイズム

アーケード [arcade] 有蓋(蓋)道路。野球場の外回りや商店街などで屋根のような覆いを付けた通路。

アーゴノミックス [ergonomics] 人間工学。生理学。心理学などを総合してデザインや仕事の能率化を図る。

アージュ [urge] ①追い立てる。駆り立てる。勧める。②本能的な衝動。

アージェント [urgent] 緊急の。差し迫った。執拗な。

アース [earth] ①接地。電気製品と地表の間に電路を設け余った電気を放射させる装置。②地球。大地。「オンリー

ワン」(かけがえのない地球)」

アース・アート [earth art] 土や岩、植物など自然の一部や景観を素材とし、それらを掘ったり削ったりして作る、前衛的な空間芸術。

アース・カラー [earth color] ベージュ・茶など大地のような茶系統の色。ファッションの色として使われる。

アース・ワーク [earth work] 自然を素材にした大規模な芸術。ランドアートともいう。

アーチ [arch] 弓状の構築物。橋げたや門などにみられる。「アーをかける(野球でホームランを打つこと)」

アーチェリー [archery] 洋弓。ヨーロッパ式の弓で射る競技。

アーチザン [artisan] 職人。工芸家。熟練工。例「アルチザン」

アーティスト [artist] 芸術家。最近は演奏家や歌手などに使われることが多い。

アーチ・ダム [arch dam] 水圧を薄い堤状のアーチで支えるダム。

アーティキュレーション [articulation] ①明確な発音。明確な表示。②分節・節づけ。建築やデザインで、造形モチーフの単位をはっきり示し、異なる表現を与えること。巨大建築に異なる分節を与え、機能を明確にする手法ともいう。

アーティクル [article] ①新聞・雑誌などの文章・論説。②法規の条項。③品物。④文法の冠詞。

アーティスティック [artistic] 芸術的な、優雅な。

アーティスティック・インプレッション [artistic impression] フィギュアスケートのフリー演技における芸術評価点。プログラムの構成、氷面の利用、音楽との適合、独創性などの芸術的観点から評価して6点満点で採点する。シンクロサイズド・スケーティングにも同様の評価部門がある。

アーティチョーク [artichoke] 朝鮮あざみ。花托の部分食用とする。フランス語ではアルティシオン。

アーティファクト [artifact] 加工



品、人工物。
アーティフィシャル [artificial] 人工の、不自然な、模造の。対ナチュラル
アーティフィシャル・インテリジェンス [artificial intelligence] 人工知能・学習や判断・推論のできるコンピュータの実現化が考えられてきた。最近ではエクスパートシステムなども加えて研究されている。AI。
アーティフィシャル・オーガン [artificial organ] 人工臓器。
アート [art] ①芸術。美術。ポップー「モダン」。②技術。人工。
アート・イベント [art event] 絵画・彫刻・建築・文学などの展示会。
アート・ウェア [art-wear] アートとしての感覚で、デザインされた宝石などの装身具。
アートーン [artoon] 漫画などの要素を取り入れた通俗性のある絵画。art と cartoon の合成語。
アート・カイト [和 art kite] 芸術的なこ。
アートシアター [art-theater] 主に芸術的、実験的な映画や劇を上映、上演する小劇場。
アートセサリー [和 art + accessory] 腕時計やブレスレット、イヤリング、ブローチなどにざん新なアート感覚でデザインしたものをいう。ハアート・ウェア
アート・ディーラー [art dealer] 美術商、画廊。
アート・ディレクター [art director] ①映画、演劇、テレビなどの美術監督。広告や宣伝に関する共同作業の統轄者。②出版、印刷物の美術面の責任者。
アート・バイヤー [art buyer] 職業的なアート制作情報の提供者
アート・ビジネス [和 art business] 主に美術品や工芸品の取引を行う事業
アートマン [atman] インド哲学の用語。本来は呼吸の意味だが、やがて人間の生気、生命、精神を表し、自我を意味する言葉となった。ウハニシャド哲学

では、世界の根本原理であるブラフマン (Brahman) と同一であるとされた。
アートモバイル [artmobile] 移動画廊。巡回美術館。
アートワーク [artwork] ①美術品。工芸品。②美術・工芸の仕事 手工芸。③挿絵。図版。
アーニング [earning] 所得。収入。収益。
アーバナイズーション [urbanization] 都市化、都会化すること。
アーバニスト [urbanist] 都市計画専門家。
アーバニズム [urbanism] ①都市生活。都会ふう。②都市化。③都市計画。都市研究。
アーバニティ [urbanity] ①都会ふう。②都市性。都会生活。都市・建築論で主に都市性に使われ、都市の便利さ、人の流れ、活気などを備えていることを指す。
アーバノロジー [urbanology] 都市学・都市を研究する学問。
アーバン [urban] 都市の。都市に住む。都会ふうの。[図]ルータル
アーバン・アメニティー・ゾーン [urban amenity zone] 建物の外観や周辺の景観における快適さを追及した都市地域。
アーバンオアシス構想 [urban oasis plan] 建設省の呼び掛けで、ビルや公園の地下に雨水を貯え、地震、火事などの災害に備える計画。
アーバンスケープ [urbanscape] 都市景観。都市 (urban) と景観 (landscape) の合成語。
アーバン・ソシオロジー [urban sociology] 都市社会学。
アーバン・デクライン [urban decline] 都市の荒廃。中産階級が郊外へ流出し、都市中心部の居住環境が悪化すること。
アーバン・デザイン [urban design] 都市計画。都市設計。
アーバン・デベロップメント [urban development] 都市開発。都心に

広大な土地を買い取り、宅地として造成すること。

アーバン・ライフ [urban life] 都市生活。都会ふうの生活。

アーバン・リゾート計画 [urban resort] 都会やその近郊にリゾート施設を建設する計画。

アーバン・リニューアル [urban renewal] 都市の再生。施設や建物が古くなり機能が低下した都市を改造・再建すること。

アーバンルネサンス [urban + renaissance] 人間性が回復できるような都市機能の再開発をめざすこと。

アービトラージ [arbitrage] 商取引でのさや取り、裁定取引。

アービトレーション [arbitration] 調停、仲裁裁判。

アープ [arb] さや取り業者。裁定取引業者。ピンハネ商人。アービトラージャー (arbitrager) の略。

アーベント [F Abend] タベ。夕方から開かれる音楽会や映画会など。

アーボレタム [arboretum] 樹木園。森林公園。

アーマー工法 [armour method] トンネル建設の工事方法の一つ。鋼管矢板を鎧(アーマー)状に打ち込む工法。

アーマゲドン [Armageddon] 世界終末の善と悪との決戦場。聖書の『黙示録』から、核戦争の意味にも使う。アルマゲドン、ハルマゲドンとも。

アーミー [army] 軍隊。陸軍。転じて群、大勢の人。トネービー

アーミー・ブルー [army blue] 米陸軍が着用する制服と同じような青色。

アーミー・ルック [army look] 軍服・軍装型のファッション。同ミリタリー・ルック

アーミン [ermine] 白テン。北欧やカナダなどの寒冷地に生息する動物で、毛並みが柔らかで、冬にはその赤褐色の色が純白となる。高級毛皮として珍重される。

アーム [arm] ①腕。腕状のもの。②腕木。

アームズ・コントロール [arms control] 軍備管理。軍備の規制のことで必ずしも軍縮を意味しないが、一般には併用される。

アームチェア [armchair] ひじ掛けいす。

アームチェア・ディテクティブ [armchair detective] ひじ掛けいす(アームチェア)に座ったままで事件を解決する名探偵。

アームド・フォース [armed forces] 軍隊。

アームホール [armhole] 洋服のそでぐり。

アーマン・コーナー [amen corner]

①教会で熱心な信者が占める一画。②米ジョージア州オーガスタのゴルフコースでレーズン・クリークに沿って設計された11番から13番までの難ホール。選手が神に祈るような気持ちになることに由来。

アーラ ⇨ AALA

アーリア語族 [Aryan] インド・ヨーロッパ語族ともいう。欧州からイラン、インドにわたり、同一語系の言葉を話す。アーリア人。

アーリア人 ⇨アーリア語族

アーリー・アメリカン [Early American] アメリカ植民地時代様式の。家具、建物などについていう。

アーリー・バード [early bird] ①早起きの人。②[E-B] 世界初の商用通信衛星インテルサット1号の通称。

アール [are] 面積の単位。1アールは100平方メートル。

アール・デコ [art déco (arts décoratifs)] 1920年代にフランスを中心に流行した装飾美術様式。1925年にパリで開かれた国際装飾美術展覧会で、服飾から建築デザインに至るまで表現された装飾美術(アール・デコラティブ)の略。60年代に復活。

アール・ヌーボー [art nouveau] 19世紀末から20世紀初頭にかけて、フランス、ベルギーから起こったデザイン運動。新しい美術の意。ポスター、イラストレーション、建築など流れるよう

な曲線が特徴。

アードーインカム [earned income] 勤労所得。

アードーラン [earned run] 野球の自責点。

アイアン [iron] ①鉄。②頭部が鉄製のゴルフのクラブ。

アイアンマンレース [ironman race] 鉄人レース。遠泳・長距離自転車・マラソンの3種目を1人の選手が1日で行うトライアスロンのことをいう。

アイアンロー [iron law] 厳格な規則。

アイウィットネス [eyewitness] 目撃者。証人。

アイウエア [eye wear] 眼鏡。

アイーオープナー [eye-opener] 目を見張らせるような驚くべき事柄。朝酒の意にも。

アイカメラ [eye camera] 眼珠の動きをフィルムに記録する装置。

アイキャッチャー [eye-catcher] 人目を引くもの。企業や製品のイメージを一目で伝える広告・宣伝用の絵や図柄。3B つまり beauty (美人), baby (赤ん坊), beast (動物)が効果的とされる。

アイキュー [IQ (intelligence quotient)] 知能指数。検査によって出した知能年齢を実際の年齢で割り、100を掛けたもの。100以上が平均以上とされる。

アイケア [eye care] 美容で、目の周りの小じわなどに対する手入れ。

アイコニクス [iconics] イメージ学。映像学。人間は事態をイメージとしてとらえるものだとし、その実態を究明する米経済学者ポールディング提唱の学問。

アイコノクラスト [iconoclast] 聖像破壊論者。迷信打破主義者。

アイコン [icon] コンピューターで、各種の機能やメッセージを表す絵文字。マウスで選択することが多い。

アイコンクラスト ⇒ アイコノクラスト

アイシェイド [eyeshade] まびさし。テニスの時などに用いるひさし状の帽子。

アイーシャイナー [eye shiner] 下まつげの内側に塗る化粧品。

アイーシャドー [eye shadow] まぶたに陰影をつける化粧品。

アイシング [icing] ①菓子などにかける砂糖のこも。②自動車の気化器や航空機の機体に氷の被膜ができること。③アイスホッケーで、センターライン手前から打ったパックが相手のゴールラインを越えること。

アイス [ice] ①氷。②アイスコーヒー、アイスクランデー、アイスクリームなどの略。

アイスアリーナ [ice arena] 氷上競技の競技場、屋内リンク。

アイスキューブ [ice cube] 冷蔵庫でできる角氷。

アイスマック [和 ice+smack] 薄いチョコレートで包み筒状などにしたアイスクリーム。

アイスダンス [ice dance] フィギュアスケートの種目。男女のペアが氷上で音楽に合わせて踊るように滑る競技。

アイスートングス [ice tongs] 食卓用の氷ばさみ。アイスートングとも。

アイスハーケン [F Eishaken] 山登り用登はん道具の一つ。氷壁に打ち込んで登はん者を確保するくぎの一種。

アイスバーン [F Eisbahn] 氷化した雪面。

アイスバイン [F Eisbein] 冷蔵した塩漬けの豚の足を煮込んだ料理。

アイスハンマー [F Eishammer] 登山で、氷壁に登ったり、横切ったりする時に使用する鉄製のハンマー。

アイスピック [ice pick] 食卓用の砕氷用きり。

アイスフォール [icefall] 氷瀑(氷の滝)。氷河の急傾斜部で氷塊が滝のようになっているところ。

アイスブレイカー [ice breaker] 会議で最初に意見を述べる人や常識や慣例を無視して新境地を切り開く人の

ことを言う。本来は氷を砕く人。

アイス＝パール [ice pail] 飲み物用の砕氷を入れるおけ状の食卓用容器。大型のはシャンペンなどを瓶ごと冷やせる

アイスボックス [icebox] 氷を使って冷やす冷蔵庫。現代では携帯用の冷蔵庫。

アイス＝ヨット [ice yacht] 氷上ヨット

アイス＝リンク [ice rink] アイススケート場。

アイゼン (Eisen) ①鉄。②登山靴の底につけ、雪上、氷上を歩く時に用いる鉄のかんじき。

アイソキネティックス [isokinetics] 人間の四肢の動きの中心となっている関節を、最大筋力の2分の1程度の力で一定の速度で曲げ延ばし、これを10回から12回繰り返す反復トレーニング方法。

アイソクロン [isochrone] 等時線。同じ特性を持つ複数の試料を図形上の地点で結んだ線。

アイソザイム [isozyme] 酵素としての作用は同じだが、分子構造や免疫学的性質の異なる一群の酵素。同位酵素ともいう。イソチームとも。

アイソスタシー [isostasy] 地殻均衡。地球のある深さでは、その上部にある地殻の圧力がほぼ同じで、地殻の均衡が保たれているという説。

アイソタイプ [isotype] 絵文字言語。視覚言語。地図、標識、統計図表などに用いられる図形や記号。絵グラフ。

アイソトープ [isotope] 陽子数が同じで中性子数が異なる元素。このうち放射線を出して崩壊するものを放射性アイソトープ(放射性同位元素)という。

アイソトープ電池 [isotope battery] 放射性物質から出る放射線エネルギーを利用する原子力電池。

アイソトニック飲料 [isotonic drink] 汗とともに失われるミネラル類を補給する飲み物。アイソトニックとは浸透圧が等しいの意で、人の体液

とほぼ同じ浸透圧なので吸収されやすい。スポーツドリンクとも。

アイソバー [isobar] 等圧線

アイソメトリック [isometric]

①等大の。結晶で、等軸の ② [—projection] 製図の等測投影法。

アイソメトリックス [isometrics] 筋力鍛練法の一つ。筋肉の緊張を一定時間持続させることによって鍛える。たとえば両手を頭のうしろで組み、頭はうしろへ、手は前へ力を入れるなど。isometric は同じ大きさや長さの意。

アイソレーションニズム [isolationism] 国家の孤立主義。不干涉政策。

アイソレーション [isolation] 孤立。隔離。交通しや断。

アイソレーション＝ブース [isolation booth] テレビスタジオに設けられた防音室。

アイソレーター [isolator] 一方向から来る電波だけを通過させ、反対方向から来る反射波は吸収してしまう素子。

アイデア＝スクリーニング [idea screening] 企業が新製品の開発に当たって行う素案の適格審査。顧客に受け入れられるかどうか、素材は適切か、製法に問題はないかなど、さまざまな角度から各種のアイデアを比較検討し、絞り込んでいく作業のことをいう。

アイデアライズ [idealize] 理想化すること。

アイデアリズム [idealism] ①哲学における観念論。唯心論。②文学の理想主義。

アイ＝ティ [IT (Inclusive Tour)] 航空機を使った旅行で、航空券の他、宿泊、地上輸送・観光などすべての地上手配を含んだ往復または回遊旅行。

アイディア [idea] ①あるものを作るもととなる新しい思いつき。着想。アイデアとも。②哲学で、観念。イデー。

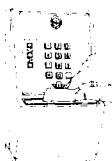
〔助詞つき句例〕

—が 浮かぶ、優れている、わく
—に ゆきづまる
—を 出す、募る、盛る、盗む



アイディアマン [idea man] 新しい製品・技術・製法などの着想・立案にすぐれた人。

アイディカード [ID card] アイデンティフィケーション カードの略。最近では磁気カードによって本人であることを識別するカードを指すことが多い。



〔IDカードによる入退室管理〕

アイテム [item] ①細目・品目 ②新聞記事の項目。③コンピューターでは磁気テープに記録されている一件分のデータ。④ファッションではブラウス、スカートなど、それぞれの服の種類。意。

アイデンティティ [identity] 同一性、存在の自己証明。精神分析学上、青年期の自己成長に重要な意味をもつ自己同一性から、主体性、自分の正体などの意味にも用いられる。「一の危機」「一の喪失」

〔助詞つき句例〕

- ーが ある、わからない
- ーに 欠ける
- ーを 確立する、失う

アイデンティティクライシス [identity crisis] 自己同一性認識の危機。自分の主体性や社会的役割を見失い不安定になること。

アイデンティファイ [identify] 同一視する。同一の人(物)であることを立証する。仲間に入る。

アイデンティフィケーション [identification] ①同一視すること、同一物であるとの確認。②広告の効果を高めるため表現に一貫性、統一性を持たせること。

アイデンティフィケーションカード [identification card] 身分証

明書。略して ID カード。

アイドナー [eye donor] 移植手術のために自分の目を提供する人。

アイドカの原則 [⇒ AIDCA's rule] ⇒アイドマの原則

アイトスA [ITOS-A] 1970年に打ち上げられた米国の第二世代初めの実用気象衛星。ノア衛星 1 号とも呼ばれる。

アイドナー [⇒アイドナー]

アイドマの原則 [AIDMA-] 消費者が製品を買うまでの心理過程を表した広告の基本原則。Aは注目 (attention)、Iは興味 (interest)、Dは欲求 (desire)、Mは記憶 (memory)、Aは行動 (action) の意味。AIDCA の原則も同様、この場合のCは確信 (conviction)。

アイドリング [idling] ①自動車のエンジンが遊転すること。②歯車などの空転。

アイドル [idol] 偶像。崇拜される人または物。人気者。一歌手。

アイドルギア [idle gear] 遊び歯車。伝導軸の間に入る歯車のことで、回転方向を合わせる時や軸間距離を広げる時に使う。

アイドルコスト [idle cost] 工場の操業率が低いことから発生する労働力の損失。また生産設備の遊休化による損失。遊休費。不働費。

アイドルシステム [idle system] 人員整理を避ける代わりに、操業や労働時間の短縮で賃金を下げる不況対策。

アイドルタイム [idle time] 遊休時間。生産設備が稼働せず、労働力が空費されている時間。

アイナ [INAH] イソニコチン酸ヒドラジッドの略。ストマイ、バスと共に抗結核剤として使用される。

アイパー [⇒iron permanent] カーラーを使わずにアイロンの熱で髪の毛にウェーブをつけるパーマ。

アイパートナー [和 eye partner] 目の不自由な人向けに、テレビの音声多重放送を使って行方解説。

アイバンク [eye bank] 角膜銀行。盲人に移植するため死者の目からとった角膜を保存する施設。

アイビー [ivy] ①ツタ類。②アイビー・スタイル、アイビー・リーグ、アイビー・ルックの略。

アイビー・カット [Ivy cut] アイビー・カレッジの大学生の間で流行しているヘアスタイル。七三に分けたショートヘアで、清潔感とスポーティーなイメージがある。

アイビー・カレッジ [Ivy college] 米北東部の名門8大学。エール、ハーバード、プリンストン、コロンビア、ダートマス、カーネル、ペンシルベニア、ブラウンの各大学。

アイビー・リーグ [Ivy League] ハーバード、エールなど米国東部の名門私立大学8校で結成しているリーグ。フットボールなどの対抗試合で知られる。

アイビー・ルック [Ivy look] ブレザー・タイフの上着、細身のスボン、ボタンダウンのワイシャツの組合せの若々しい男性の装い。米国東部の有名8大学を指すアイビー・リーグふうの装い。

アイブロー・アーチ [eyebrow arch] まゆ毛の形を整える美容法のこと。

アイブロー・シェーブ [eyebrow shape] はさみや毛抜きで眉毛の形を整える美容法の一つ。

アイボリー [ivory] 象牙。象牙色。象牙製の物。

アイボリー・ペーパー [ivory paper] そうげ色をした光沢のある厚い洋紙。

アイボリー・ホワイト [ivory white] そうげのような白色。

アイメート [和eye + mate] 育導犬。

アイライン [eye line] 目ばり。目を大きく見せるため、まゆ毛用鉛筆やまぶたにつける化粧品でふちどる。

アイラッシュ・カーラー [eyelash curler] 女性が目を美しく見せるために、まつげを上向きにさせる器具。

アイランド・キッチン island kitch-

en] 部屋の中心部に流し台、調理台、レンジを設置した台所。海に囲まれた島のイメージから。

アイランド・ハーフ広告 [island half-] 新聞記事の中に島のようにはめ込まれた半ページ大の広告。

アイリス [iris] ①ギリシャ神話の虹(にじ)の女神。虹。②アヤメ科の植物の総称。③眼球の虹彩(にじ)。カメラのレンズの絞り。

アイリス・アウト [iris-out] 映画やテレビで画面の全体から一部へしぼっていく技法で、特定物の印象を強めるときや場面転換に使う。アイリスは眼球の虹彩(にじ)で丸絞りを意味する。例 アイリス・イン

アイリス・イン [iris-in] 映画、テレビで画面の一部から全体をみせていく手法。例 アイリス・アウト

アイル [aisle] ①劇場・列車・飛行機などの座席間の通路。②教会の側廊。

アイル・シート [aisle seat] 劇場・列車・飛行機などの通路側の席。

アイレストホワイト [和eye + rest + white] 柔らかい感じの白。目をなごませる白の意。

アイレット [eyelet] ①装飾のための、あるいは、ひもを通すために服に開けた小さい穴。②のぞき穴。銃眼。

アイロニー [irony] 反語、逆説的表現。皮肉。

アイロニカル [ironical] 反語的な。逆説的な。皮肉な。「—なお世辞」

アインスタイニウム [einsteinium] 人工放射性元素。記号 Es。原子番号99。物理学者アインシュタインの名にちなむ。

アインフュールンク [F Einfühlung] 芸術作品や自然に感情・想像を注ぎ込んで感動すること。感情移入。

アウストラロピテクス [australopithecus] 洪積世初期(約100～300万年前)に生存していたと思われる猿人で、石器を使った。化石の最初の発見は1924年。

アウスレーゼ [F Auslese] 選択。選りすぐったもの。極上品。特によい房を選



んで作った高級ぶどう酒。

アウトター [outer] ①外側の。外の。外部の。②セーター・カーディガンなどの上着の総称。外出着。英語は outer wear。[英]インナー

アウトター・スペース [outer space] 大気圏外の宇宙。

アウトタルキー [F Autarkie] 自給自足経済。経済社会の未発達な段階で、国内の生産物のみで生活必需物資をまかなえる状態にあるときを指す。

アウトテリア [和 exterior] 門、扉、塀、欄、街灯などの室外装飾、装置。エクステリア。[英]インテリア

アウト [out] ①外、外へ ②テニスなどで打球がコートの外へ出て失点となること。③ゴルフで18ホール中の前半9ホール。 [英]イン④野球で打者、走者が権利を失うこと。 [英]セーフ⑤使いものにならなくなること。だめになること。「—になる」

アウトウェア [和 out + wear] 上着。カーディガン、セーター、スーツ、コートなど。 [英]アンダーウェア

アウト・オブ・デート [out-of-date] 時代遅れの。すたれた。古くさい。

アウト・オブ・バウンズ [out of bounds] ①バスケットボールなどでボールが規定の競技区域外に出た場合。②ゴルフで、プレーを禁じている区域。OB。

アウト・オブ・ファッション [out of fashion] 流行遅れの服装。

アウトグループ [outgroup] 社会学用語で外集団。他者集団。 [英]イングループ

アウトコース [和 out + course] ①野球で打者から見たときにホームベースの遠いほうのボールの通り道。②陸上競技などで外側のコース。 [英]インコース

アウトコーナー [out corner] ①野球で、打者から見てホームベースの外側のすみの部分。外角。「—をつく」②陸上トラックやレース場などのカーブの外側。 [英]インコーナー

アウトサイズ [outsize] 衣服などが特別サイズの。特大の。

アウトサイダー [outsider] 体制外にいる人。局外者。門外漢。非加盟者。一匹狼。 [英]インサイダー

アウトサイド [outside] ①外側。外部。②テニス・卓球などで規定線の外側。またはその部分にボールが落ちること。③野球の外角球。 [英]インサイド

アウトスカート [outskirts] ①郊外。町はずれ。②周辺部分。周縁。

アウトスタンディング・アカウン [outstanding account] 未払いの勘定・計算書。

アウトステップ [outstep] 野球で打者が投手よりの足をホームベースと反対の方向に踏み出すこと。

アウトソーシング [outsourcing] 国際調達。海外部品調達。企業の国際化に伴い、より安く手に入る海外部品でまかなおうとする企業活動。技術力が向上しているアジア NIES の部品を買い付ける動きが盛んになっている。

アウトダイニング [和 out + dining] 外食。

アウトテーク [outtake] ①映画・テレビで撮影後にカットされた場面。②レコード化されていない録音物。

アウトドア [outdoor] 屋外の。 [英]インドア

アウトドアOA [和 outdoor OA] オフィスの外での仕事を端末機器やファクシミリなどを利用してOA化すること。

アウトドア・ライフ [outdoor life] 野外生活。積極的に自然環境を取り入れた生活。屋外で余暇を過ごす生活。

アウトバースト [outburst] ①爆発。感情の噴出。②太陽の出す電波が突然強くなり短時間続く現象。

アウトバーン [F Autobahn] ドイツの高速自動車専用道路網。ヒットラーの提唱で作られた。

アウトバウンド [outbound] ①外国行きの。②テレマーケティング商法で、見込みをつけた客に電話をかけて、商品やサービスの購入を勧誘すること。

【対インバウンド】

アウトフィッター [outfitter] 旅行用品店。スポーツ用品店。

アウトフィット [outfit] 旅行・探検などの装備・衣装一式。

アウトフォーカス [和out+focus] 写真撮影で意識的にピントをそらす撮り方。英語は soft focus。

アウトプット [output] ①出力。コンピュータから情報を取り出すこと。

【対インプット】 ②産出量。産出高。

アウトプット-デバイス [output device] コンピューターの出力装置。

【対インプット-デバイス】

アウトブレイク [outbreak] 戦争などの勃発・発生。

アウトブレースメント [outplacement] 転職斡旋。特に人減らしをしたい企業従業員の新就職先を探してやること。

アウト-ボクシング [out boxing] 相手に接近せず、離れて相手の姿勢を見きわめて打撃を加える作戦。これが巧みな選手をアウトボクサーという。

アウトポケット [和outpocket] 上着の外側にあるポケット。英語は outside pocket。

アウトライト取引 [≡ outright transaction] 無条件取引。買い戻し、売り戻しの条件をつけない売り方、買い-一方の外貨取引。【対スワップ取引】

アウトライン [outline] 輪郭、概要、あらまし。略図。「計画の—」

アウトライン-フォント [outline font] 電算編集などで、出力する文字をドット(点)の集まりではなく、文字の輪郭が持つ情報によって作り出すもの。

アウトリガー [outrigger] ①転倒防止のためクレーンの基部から突出させている鋼製のはり、または格子けた。②転覆防止用の張り出しの付いたカヌー。③トロローリング用の船で、釣糸を繰り出すために船尾の両側から張り出すさお。

アウトルック [outlook] 予報。見通し。展望。見解。

アウトレイ [outlay] 経費。支出。

アウトレット [outlet] ①放出口。釣りで流れ出し。【対インレット】②電気でプラグのさし込み口。コンセント。

アウトレット-ストア [outlet store] 特定のメーカーの製品を売る小売店。割引店の一形式。

アウトロー [outlaw] 法律の保護を奪われた人。法秩序からはみ出た人。追放者。

アウトワード-バウンド-スクール [outward bound school] 野外活動を通じて青少年を育成しようとする教育機関。釣り、登山、水泳などの野外スポーツ、レジャーを体験、自己の能力の限界に挑戦させる。英国ウェールズで1941年に創設、日本でも長野県小谷村にコースが開設された。

アウフヘーベン [F aufheben] 哲学用語で止揚、揚棄。矛盾対立関係にある二つの概念を統一し、より高い概念に発展させること。

アウラ [ラ aura, ラ aura] ①人体から出ると信じられている流動体。霊気。②雰囲気。感じ。③てんかんなど病気の前兆。オーラとも。

アエラ [ラ aera] 時代。英語の era の語源。

アエロフロート [Aeroflot] ソ連航空。コード名SU。

アエロ-モベル [Aero-Mobel] 大気鉄道。ブラジル南部の大都市ポルトアレグレで1984年から実験走行が行われている真空圧稼働新交通システム。インドネシアのジャカルタでも89年に開通したが、故障でストップした。中空のダクトを軌道とし、車両と床下先端のピストンの前面の空気を抜くことによって車両が走る仕組み。建設費、維持費が安く、故障も少ない利点がある。

アカウンタビリティ [accountability] 責任。結果についての責任。「その仕事の—は部長にある」

アカウンタント [accountant] 会計士。会計係。主計官。

アカウンティング [accounting] 会計。会計学。会計報告。